

タップ

ブース番号 W4-G04

ホテル・旅館向け情報システム

ホテル・旅館専門の情報システム会社、タップは創業34年の老舗。同社のPMS（ホテルシステム）ユーザー施設数は1千軒を超える。15年間

以上の長期ユーザーも多い。東京と沖縄に開発拠点をもち、琉球大学には「ホスピタリティサービス工学研究所」を開設。宿泊業でのテクノロ

ジー活用研究も行っている。ホテル・旅館の業務に必要なほぼ全ての機能を自社開発のパッケージソフトで提供する。HJ2021の同社プ

スでは、非接触型ソリューションのスマートPMS「tapAppri」も紹介する。宿泊客が自身のスマホ上で、予



タップアプリのアイコン

tapAppli

約、決済、チェックイン、ルームアサイン、ルームキー発行、チェックアウト、電子レシートの発行まで完了することができ、1月末には東急ステイが試導入している。同アプリは外部企

スマホで予約やチェックイン

業とのコラボレーションによる機能拡張が可能。技研トラシステムとの協業による館内混雑状況可視化機能のデモや、マースウィンテックとの協業による消毒済みルームカードキー発行の実演もブースで行う。パナソニックが開発した客室理想体験プログラム「(MU) ROOM」とのコラボで、ミスト、照明の調光・調色、空間音響、アロマの連携を同アプリから制御できる機能の紹介も行う。

ゲストとのヒューマンタッチを大切にしているリゾートホテルや旅館向けに開発した新製品「タプレット・チェックイン（仮称）」のプロトタイプも展示予定だ。混雑するフロント以外のロビースペースや客室でのチェックインを可能にした製品となっている。